

国語科学習指導案

授業者

指導者

- 1 対象 年 組
- 2 日時 2025年6月13日4時間目
- 3 場所 教室
- 4 単元名 ものの見方・感性を養う「短歌の世界／短歌十首」『現代の国語』（三省堂）
- 5 単元について

(1) 単元の目標

- ・短歌のリズムや表現技法などの特徴を捉える。
- ・情景や心情を表す語句に注意して、短歌についての理解を深める。
- ・表現の工夫や効果をふまえて考えを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、真面目な生徒が多く、集中すべき場面ではしっかりと授業や課題に取り組んでいる。また、授業中に問題が分からない生徒がいれば、周囲の生徒がすぐにサポートに入り、互いに助け合いながら学習を進める様子が見られる。発言の傾向としては、自ら積極的に発言している生徒は限られており、クラス全体で見ると、自発的に発言する生徒は少ない。しかし、自身の意見や解答を書けてはいるため、当てられれば答えられるといった生徒も多い。さらに、意見をまとめたり教科書の内容を整理したりする際、丁寧に書こうとするあまり、文章作成に時間がかかる生徒が多く見受けられる。

(3) 教材観

「短歌の世界」では、俵万智によって日本が誇る文化の一つである短歌の歴史や特徴を概説するとともに、二つの短歌を用いて、想像する楽しみや技巧に着目して読み深める鑑賞の在り方を具体的に示している。「短歌の世界」で短歌に触れた上で、「短歌十首」では、近代と現代を代表する十人の多様な歌人による多様な作風の作品を取り上げており、それらの短歌から学習者に主体的に短歌を詠み味わわせている。学習を通して、短歌に親しむ事、ものの見方や感じ方の豊かさ、鋭さを味わい、自らの生活とその周辺を見つめる感性を豊かにしていくことが期待される。

(4) 指導観

本授業では、授業を通して短歌について勉強し、他者の短歌を読むことで、表現の多様さや他人の心の動きに気づかせ、共感や想像力を育ませる。その上で、生徒

自身が自分の思いや感情を短歌という形式を通して言葉にすることを旨とする。生徒観でもあるように普段はあまり自主的に発言をしない生徒が多く、その自己表現に苦手意識をもつ生徒にとっても、自分を表現するための手段として授業内容である短歌十首について自身の考えをまとめる文章作成や創作活動を行っていきたい。そのため、本授業では短歌十首の内容をしっかりと理解させた上で、短歌のリズムや表現技法にどのような効果があり、その短歌の魅力を自分自身の言葉で考えをまとめさせる。また、生徒の意見を大切に、発表や共有の場においては、他者の表現を温かく受け止める雰囲気や大切にすることで、表現することへの自信と楽しさを育てていきたい。

6 単元の評価規準

A 知識・技能	思考力・判断力・表現力等			E 主体的に学習に取り組む態度
	B 聞くこと・話すこと	C 書くこと	D 読むこと	
・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	・短歌をリズムに乗せて音読することができる。 ・自分の考えを持ち、それを他者に伝えることができる	・授業内容を通して、短歌のリズムや技巧についての理解し、自分の言葉でまとめることができる。 ・短歌のリズムや特徴について理解した上で、自身で短歌を創作することができる。	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験に結び付けて、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・本文内容から、観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。	・グループワークで積極的に参加している。 ・自ら進んで知識や経験と結び付け、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。

7 単元計画 (全5時間)

第一時…①「短歌の世界」を通読して内容を捉え、短歌の特徴を理解し、短歌二首を音読して味わう。

第二時…②「短歌十首」について、意味の切れめや調子に注意しながら音読し、大意を把握する。

③「短歌十首」の特徴や技巧に注目しながら内容を整理し、理解を深める。

第三時…④「短歌十首」の中から印象に残った短歌を選び、情景や心情をまとめ、その短歌の魅力について自分の考えをまとめる。【本時】

第四時…⑤「短歌の世界」「短歌十首」の内容を踏まえて、自分自身で短歌を創作することでさらに学びを深める。

8 本時案

(1) 本時の目標

- ・印象に残った短歌を選び、情景や心情をまとめる。
- ・選んだ短歌の魅力をもとめて伝え合う。

(2) 本時の展開 (50分)

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入 2分	○本時の目標について説明する ・授業の流れを伝える		
展開 5分	○短歌を1つ選ぶ ・短歌十首のスライドを見せながら内容確認	(活動時は常に時間を計る) ・PPTスライド	
10分	・ワークシートの書き方をPPTで例題を提示して説明する。 ・ワークシートにメモする メモ①選んだ短歌の説明 メモ②選んだ短歌の魅力	・ワークシート回収するため、貼らないよう声掛けする ・メモ①と②の違いを例で提示する時に説明する ・机間巡視	(C)授業内容を通して、短歌のリズムや技巧についての理解し、自分の言葉でまとめることができる (E)自ら進んで知識や経験と結び付け、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている
13分	○メモをもとに考えを文章にする ※条件に合わせて書く	・条件を確認する ・机間巡視	(D)文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験に結び付けて、自分の考えを広げたり深めたりすることができる
12分	○グループごとで意見交換する ・6人班 ・評価シートに他の人の意見を記入する(自分の考えとの違いや、	・グループの発表順を決めておく ・発表を聞く時間と評価シートを書く時	

5分	他の短歌を選んだ人の意見を聞いて考えたことを書く) ○グループから代表1人ずつ発表する	間を分ける ・評価シート集める	(E)グループワークで積極的に参加している (B)自分の考えを持ち、それを他者に伝えることができる
まとめ 3分	○短歌十首のまとめ ○次回の授業内容の予告 ・次回小テストあり ・持ち物：色鉛筆	・次回の授業がスムーズに進めるよう先に次回の授業の進め方を提示する	

9 板書計画

板書は行わず、プロジェクターを用いて授業を進める。

※目標は板書する

10 準備物等

授業ワークシート（短歌十首）

ご高評価欄

短歌の世界／短歌十首【7②】

二年 組 番 名前)

○評価シート

グループの意見を聞いて感想を書こう。

例)【くれなるの(短歌の初句)】

さん	さん	さん	さん	さん
【	【	【	【	【
【	【	【	【	【